

ニュース (出来事)	概 要
小児・周産期医療の連携・協力体制の締結により東海地方で唯一の周産期内科の新設 《4月》	2月、三重大学医学部附属病院、三重中央医療センター、桑名市総合医療センター、三重県及び桑名市は、関係機関と桑名市総合医療センターの間において、桑名市の小児・周産期内科の充実に向けた必要な医師の確保、ならびに関係機関との連携・協力体制の充実を図ることを合意した。 4月、桑名東医療センターに周産期内科を設置。
本年度をブランド元年とし、ブランド化始動 《4月》	4月ブランド推進課を新設、5月東京PR事務局を開設、7月ブランドキャッチフレーズを決定、10月ブランドのロゴマーク決定、さらに二代目はまぐり大使を任命するなど全国へのPR活動を推進した。
インターネットによる議会中継開始 《6月》	従来のケーブルテレビ放映に替え、インターネットによる放映にしてより多くの方にご利用いただき、且つコストの低減も図った。12月定例会からは委員会のインターネット放映も開始した。
家庭エネルギーの見える化を先進的にスタート 《9月》	経済産業省「大規模HEMS（家庭用エネルギー管理システム）情報基盤整備事業」の実証地域として、KDDI(株)、三重県と事業推進に関する協定を締結。市民モニターの募集がスタートし、1700戸が登録される。電力の「見える化」による省エネ活動やピーク時対策に無理なく取り組めるなどの効果が期待できる。
初の市内全域での総合防災訓練を実施 《9月》	大規模災害に対する危機意識の再認識と防災意識の向上を図るため、桑名市では初めての全域を対象とした避難訓練を行った。
新桑名市総合計画を策定、市議会で議決 《9月》	市長の7つのビジョンに合わせた平成27年度からの新総合計画を策定し、市議会で議決された。
「地域生活応援会議」がスタート 《10月》	地域包括ケアシステム」の構築に向けた取り組みのひとつとして、介護支援専門員のケアプラン作成に際して薬剤師、管理栄養士、理学療法士、歯科衛生士等の多職種が協働して高齢者の自立に向けた助言等の支援を行う左記会議を開始した。
ふるさと納税制度で2週間に5千万円が集まる。 《12月》	これまで、金額に大小に関わらず六華苑のペアチケットなどを進呈していたが、12月1日から市内の事業者から応募をいただいた記念品にリニューアルした。 その結果、2週間で約5,000万円の寄付が市外の方から集まった。
小・中学校が3学期制へ方針決定 《12月》	桑名市教育委員会は、二学期制の導入によって得た成果を活かしつつ、区切りをはっきりとさせる中で、児童生徒が意欲的に学習に取り組むことができるよう、平成28年度から3学期制に変更することを決定した。
新市誕生から10周年 《12月》	平成16年12月6日の1市2町の合併から10年を迎える。市民を迎え式典を開催した。